

No	基本政策	施策	ページ	区分	発言者	発言内容	対応方針	計画素案 [6.14時点]	計画修正案	担当課
1	基本計画	横断的な視点	34	意見	大島委員	計画素案を読んで、経済・観光、農林水産においても人を大切にしていると感じる。そこでは佐賀の住民・関わる人などまとめられているが、実際の生活では外国人やLGBTの方などもいるが、それが見えにくい。また、グローバルという視点も足りていないのではないか。	他の委員からも同様の意見をいただいております。横断的視点に新たに「国際性」という項目を追加する方向で調整したい。	<p>●横断的視点 それぞれの分野の枠を超えた横断的な視点として、「主体性」「多様性」「持続性」「柔軟性」の4つの視点から横断的に施策を展開します。</p> <p>②多様性…多様性を理解し、尊重する社会へ 社会情勢や構造は常に変化しており、市民の価値観や生活スタイル、ジェンダーなどの多様性を認め合う社会の実現が求められています。</p> <p>このような変化を互いに受け入れながら、市民がそれぞれの立場、特性、権利を理解し、尊重した上で支え合い、一人ひとりが豊かな暮らしを送ることができるように、みんなが積極的に協力する社会を目指します。</p>	<p>●横断的視点 それぞれの分野の枠を超えた横断的な視点として、「主体性」「多様性」「持続性」「柔軟性」「国際性」の5つの視点から横断的に施策を展開します。</p> <p>②多様性…多様性を理解し、尊重する社会へ 社会情勢や構造は常に変化しており、市民の価値観や生活スタイル、ジェンダー、グローバル化などの多様性を認め合う社会の実現が求められています。</p> <p>このような変化を互いに受け入れながら、市民がそれぞれの立場、特性、権利を理解し、尊重した上で支え合い、一人ひとりが豊かな暮らしを送ることができるように、みんなが積極的に協力する社会を目指します。</p> <p>⑤国際性…グローバルな視点を持ち、世界に開かれた社会へ 技術の進歩や世界経済との結びつきなどを背景に、グローバル化は急速に進展しており、経済や観光、教育などあらゆる分野においてグローバルな視点で物事を捉えることが求められています。</p> <p>「日本国内の佐賀」だけでなく、「世界の中での佐賀」にも目を向け、地域の魅力を磨きながら発信し、世界に開かれた社会を目指します。</p>	企画政策課

No	基本政策	施策	ページ	区分	発言者	発言内容	対応方針	計画素案 [6.14時点]	計画修正案	担当課
2	4 経済・観光	働きがいのある企業を増やす	42	意見	梅崎委員 村井委員	1—②の産学官の連携では、「民」という言葉を入れて産学官民の連携ではどうか。市民も含めて、という意味では、梅崎委員の意見に賛成		産学官の連携で促進します	産学官民の連携で促進します。	経済政策課
3	4 経済・観光	働きがいのある企業を増やす	42	意見	梅崎委員	企業誘致に関しては、熊本県のように外から呼んでくる例もあるが、これからは企業を育てていくのが重要である。若者・女性・高齢者が創業していくことで、地元から生み出し育てていく観点も入れるべきではないか。	④は企業誘致、③は創業支援、起業家育成に関する取組方針を記載している。創業支援、起業家育成は重要と考えているため、産業支援プラザを拠点に取組を進めていきたい。	先進的なビジネスへの挑戦を生む環境整備を行います。	創業や先進的なビジネスへの挑戦を生む環境整備を行います。	経済政策課
4	4 経済・観光	ここにしかないモノ・コトが集まる「まちなか」への進化	42	意見	宮崎委員	佐賀の魅力を高めるためには、佐賀市民だけではなく、県外、福岡・関西・関東の人が投資をしたいと思えるようにしないといけない。また、例えば病院は既に人口が確保されている場所にインフラとして建てるものであり、人を集めるために病院を建てるのではない。まずは、人をどう集めるかが重要である。	人々が集まる環境をつくることは重要である。そのうえで、市内だけでなく、市外や県外からも、まちなかへの投資を呼び込みエリアの価値を上げ、そのことで新たな投資を呼び込むという好循環を作っていく。委員からの指摘を踏まえて取り組み方針に加える。	まちなかで必要な機能がそれぞれつながる便利でコンパクトな「まちなか」を形成します。	まちなかで必要な機能がそれぞれつながる便利でコンパクトな「まちなか」を形成し、 <b>新たな投資を呼び込む好循環を生み出します。</b>	中心市街地振興室
5	4 経済・観光	働きがいのある企業を増やす	42	質問	庄野委員	新しい働き方や新たなフィールドで活躍する企業の魅力などを、高校生や大学生といった就業に迫られる世代だけでなく、もっと下の世代から伝えていくことを要素として追加してもいいと思って意見を出した。企業を増やすとともに教育的要素というのは大事なのではないか。先進的企業だけでなく、そこで働く人が増えれば、まちなかを訪れる人も増えていく。同時に価値観も多様化し複合的な要素を集めたまちとなり、プレーヤーが増えていくのではないか。	就職前期の高校、大学等におけるキャリア教育、義務教育期の小・中学校における教育それぞれに、教育部と調整しながら、総合戦略及び個別施策の中で検討していきたい。			経済政策課
6	4 経済・観光	働きがいのある企業を増やす	42	意見	平野委員	就業に関して、以前は漁業や農業でも就職活動における高校生などからの応募があったが、今は働き方改革や賃金の問題もあり、なかなか応募がない。働き始める前からそういった職業のよいところを伝えていけたらと思う。大学等で学んだ人は多く県外へ出ていき、残る人は30%程度ということも聞いているため、残った人が働きやすい環境を整えることが重要ではないかと考える。	就職前期の高校、大学等におけるキャリア教育、義務教育期の小・中学校における教育それぞれに、教育部と調整しながら、総合戦略及び個別施策の中で検討していきたい。			経済政策課
7	4 経済・観光	価値のある観光体験の提供	41	意見	梅崎委員 宮崎委員	目指すところの主語として、多くは市民であるが、2つ目の観光だけ「市を訪れる人が」となっている。その主体は市民であるべきかと思うので、できれば、「市民が」観光客に対して、という形にできないか。  佐賀市民が自分たちの観光資源に気づいていないまま、来た人に気付いてもらおうというのはおかしい。市民が気づいた上で観光客におもてなしをして、佐賀市を気に入ってファンになってもらいたい。そういった点を踏まえて文言は検討してほしい。	委員からの意見を踏まえ、「市民」を主語とする表現を加えて修正する。	市を訪れた人は、多様な観光体験を通じて魅力に気づき、佐賀のファンになっている。	市民は日常にある地域の魅力を内外に伝え、市を訪れた人は多様な観光体験を通じて、佐賀のファンになっている。	観光振興課

No	基本政策	施策	ページ	区分	発言者	発言内容	対応方針	計画素案 [6.14時点]	計画修正案	担当課
8	4 経済・観光	価値のある観光体験の提供	42	意見	庄野委員	補足として、「地域ブランドの創出」「佐賀らしさ」として、ぜひ佐賀市の地域資源である「クリーク」の活用も、観光資源の重点要素の一つとして検討していただけたらと思う。佐賀らしさとして、クリークは地味なものではあるが、市民活動によって広がってきているため、オンリーワンの観光資源の1つとして、参考にさせていただきたい。	意見を踏まえて、総合戦略の中で整理する。			観光振興課
9	4 経済・観光	価値のある観光体験の提供	42	意見	宮崎委員	観光について、佐賀らしい観光という表現があるが、PTA会長として活動した際に、佐賀市には北から南まで広いエリアがあり、市町村合併した地域を含めて、それぞれで地域らしさが異なると感じた。県としては唐津や武雄では市のらしさのイメージがあるが、佐賀市ではあまりイメージがつかない。取組でバルーンが初めにあるがあくまでイベントで常時あるのではなく、地域ごとに観光・集客要素がある。佐賀市らしさや佐賀市の観光とまとめるのではなく、佐賀市の地域ごとの特徴や方針を打ち出した方が、外部の人にはわかりやすいのではないかと。できれば、佐賀らしさだけでなく、有明海や山など、地域地域の特性を生かした観光を提供できるような文言に変えていただけるとよいと思う。	委員からの意見を踏まえ、「地域の特性」を織り込んだ表現に修正する。	マーケティングに基づき、佐賀の魅力を国内外に発信するとともに、市民が世界に誇れる地域ブランドの創出を目指します。	マーケティングに基づき、 <b>地域の特性を活かした</b> 佐賀の魅力を国内外に発信するとともに、市民が世界に誇れる地域ブランドの創出を目指します。	観光振興課
10	4 経済・観光	ここにしかないモノ・コトが集まる「まちなか」への進化	42	意見	宮崎委員	佐賀らしさを言う言葉が多くあるが、経済分野における佐賀らしさは何だと思おうか。私は、佐賀らしさは商業ではないかと考える。佐賀市は平野であり、道路の利便性が良く、他県を含めた商圏が広い。一方、集客力があるといっても、佐賀市の中心部は、アリーナによって週末は集まっているが、常時集まっているわけではない。コンパクトシティの中に新たな投資を呼び込み、好循環を生み出すためには、新幹線が通れば駅前再開発が促され、人の回遊が活発になる中で、佐賀の良さを知ってもらおうのが良いのではないかと。これから新幹線ルートのことを含めて明確になれば、具体的化してほしい。	本市は、ご指摘の「商業」を含めた第三次産業の割合が高い都市である。「らしさ」は、現在の視点に加えて、時間の経過とともに獲得していく側面もある。本計画は、2040年の目標年次を見据えた計画でもあるため、人口減少（商圏の縮小）を前提に考えると、「商業」に加えて、その他の産業を育成する視点も重要と考えており、総合戦略の中で検討していきたい。			経済政策課
11	4 経済・観光	ここにしかないモノ・コトが集まる「まちなか」への進化	42	意見	村井委員	ここにしかないモノ・コトが集まる「まちなか」への進化に、バリアフリーについての観点を、方針に反映させて欲しい。先日、佐賀駅前前で特に歩きづらいと感じることがある、車いすで利用できるお店を探して苦労したという話を聞いた。健常者でない方が気軽に集まるには不自由することがあるので、多くの人が集まるのであれば、バリアフリーの観点も必要であると感じて意見した。	街なかへの来訪者が楽しく過ごす・回遊したいまちを達成するためには、バリアフリーやノーマライゼーションは大事な要素であると考えている。意見を踏まえ、バリアフリーの視点も考慮した記載を検討	③住む人はもちろんのこと、訪れる人にとっても居心地の良い、歩きたくなる空間を創出します。	③住む人はもちろんのこと、 <b>誰にとっても居心地の良い、訪れたい空間を創出します。</b>	中心市街地振興室
12	4 経済・観光	ここにしかないモノ・コトが集まる「まちなか」への進化	42	意見	梅崎委員	オープン型市民説明会も市街地広場ではやっておらず、佐賀の人たちはゆめタウンに集まるのが明らかなのではないかと。中心市街地活性化は昔からやっているが、効果は出ていない。正解や有効手段はわからないが、平日などの日中を通して人が集まることを目指して是非力を入れてほしい。	具体的な方策は、総合戦略や関連する個別の計画において整理し、平日休日問わず人が来る・利用するような取組をしっかりとっていく。			中心市街地振興室

No	基本政策	施策	ページ	区分	発言者	発言内容	対応方針	計画素案 [6.14時点]	計画修正案	担当課
13	4 経済・観光	ここにしかないモノ・コトが集まる「まちなか」への進化	42	意見	山田委員	<p>【総合・地域分科会】</p> <p>「3ここにしかないモノ・コトが集まる「まちなか」への進化」について、次世代人材を育成するまちづくりのビジョンに共感している。④ではさまざまな世代と表現されているが、次世代人材の観点がもう少し反映されても良いのではないか。</p>	<p>「04 経済・観光」に係る意見のため、経済・産業分科会において整理を行う。</p> <p>人口減少に伴い都市機能の縮退が予想される中において、今後の社会を担う「次世代人材」の観点は、必要な視点であると考え。意見を踏まえ、「次世代」を意識した内容としたい。</p>	<p>④様々な世代が誇りと愛着を持ち、誰もが安心して住み続けられる「まちなか」を創出します。</p>	<p>④小さな子どもの頃から誇りと愛着を持ち、様々な世代の誰もが安心して暮らし続けることができる「まちなか」を創出します。</p>	中心市街地振興室
14	3 文化・スポーツ	する・みる・ささえるスポーツの推進	39	意見	宮城委員	<p>【総合・地域分科会】</p> <p>プロスポーツの社会的効果と経済的効果が注目され始めている。今はバルーンが観光の中心となっているが、プロスポーツも近年盛んになってきており、観光や経済にも波及する分野であるため、他の分科会でも取り上げてほしいと思う。</p>	<p>「04 経済・観光」に係る意見のため、経済・産業分科会において整理を行う。</p> <p>スポーツを含めたコンベンションは、地域経済への波及効果もあるため、より効果的な取組が必要。特にアリーナ効果の最大化は、総合戦略の中で取り上げていく。</p>			経済政策課 観光振興課

No	基本政策	施策	ページ	区分	発言者	発言内容	対応方針	計画素案 [6.14時点]	計画修正案	担当課
15	5 農林水産	感動を与え、稼ぐ農業の実現	44	意見	宮崎委員	以前、鍋島小学校で、大豆を生産、加工、販売までを体験した当時の生徒は今でもその時の印象が強く残っている。生産側に立つ体験だけではなく、消費者側までつながる体験を、学校教育や地域教育などで行ってはどうか。	<p><b>【農業】</b> 小さい頃の体験は重要であり、生産から加工・販売までの体験事業が、事業者との連携による取組については、今後事務事業の中で協議したい。</p> <p><b>【林業】</b> 「森林環境教育」には、森林・林業に関するだけでなく、自然体験や、木材を暮らしに取り入れる取組みなど、幅広く含まれている。木材の生産・流通・加工・消費の一連を体験できるような視点も取り入れていきたい。</p> <p><b>【水産業】</b> 取組み方針の「佐賀海苔の美味しさを伝え、消費等の拡大を図ります。」において市内幼稚園・中学校(小学校については県が実施)への新海苔配布など実施しており、引き続き実施するとともに、新たな取組みなども検討していきたい。(現在も、漁協各支所青年部などにより学校を対象とした取組みが実施されている。また、市においても出前講座等の学校からの要請に対応している。)</p>			農業振興課 森林整備課 水産振興課
16	5 農林水産	感動を与え、稼ぐ農業の実現	44	意見	木村委員	小学生の稲作体験に関わって、子供たちと楽しい体験をさせてもらったため、今後も続けてほしい。うちの家の畑が草で荒れていたが、息子が草刈りから野菜を育てて収穫するところまでやってくれて、楽しそうに生き生きとしていた。自分で作る感動を持った若い人が増えてくれればと思う。	令和5年度に農業体験を実施した市内の小学校は36校中33校となっている。そのうち稲作体験を実施した学校は19校ある。今後も農業体験の継続に努める。	【1 感動を与え、稼ぐ農業の実現】 記載なし	【1 感動を与え、稼ぐ農業の実現】 ⑧小さい頃から農業に触れるなど農業の魅力を活用して、“農”のあるまちづくりを推進します。	農業振興課
17	5 農林水産	森林を守り、育て、使う林業の発展	44	意見	庄野委員	森林環境教育を行うとあるが、興味を持つことには小さいころに触れた経験が大きいため、良い取組と思う。教育機関等と連携して、林業以外でも取り組んでほしい。	<p><b>【農業】</b> 農業に関しては、小学校での農業体験はJAや農家等の協力を得ながら実施しており、また、市事業として、有機農業実践者による親子向け農業体験イベントや農業研修など消費者交流事業を実施している。</p> <p>小さい頃から農業に触れる機会があることは、農業に魅力を感じるためにも非常に大切なことと捉えていることから、意見を踏まえ、新たに項目を織り込む。</p> <p><b>【水産業】</b> 意見整理表No.16の対応方針と同じ。</p>			農業振興課 水産振興課
18	5 農林水産	感動を与え、稼ぐ農業の実現	44	意見	宮崎委員	体験型授業は今はやっていないとのことだが、佐賀市独自で取り組んでほしい。	小さい頃から農業に触れる機会があることは、農業に魅力を感じるためにも非常に大切なことと捉えていることから、意見を踏まえ、新たに項目を織り込む。また、生産から加工・販売までの体験事業の実施については、今後事務事業の中で協議したい。	【1 感動を与え、稼ぐ農業の実現】 記載なし	【1 感動を与え、稼ぐ農業の実現】 小さい頃から農業に触れる機会を提供し、農業の魅力を活用した“農”のあるまちづくりを推進します。を追記する。	農業振興課

No	基本政策	施策	ページ	区分	発言者	発言内容	対応方針	計画素案 [6.14時点]	計画修正案	担当課
19	5 農林水産	感動を与え、稼ぐ農業の実現	44	意見	村井委員	農業は方針の数が多いので、最重要な方針の明示か、優先度を決めた方が良く考える。また、①と④「労働力確保」、②と③と⑦の「生産効率化」に関する方針は重複していると思うので、統合した方が良くはないか。私自身は、重点的にやることとして、一番重要なのは労働力確保と思っている。	施策の方針数が多く優先順位が分かりにくかったため、方針数を絞り込む。 「労働力確保」に関する方針①・④、「生産効率化」に関する方針③、「生産体系構築」に関する方針②・⑦、「生産体系・販路拡大」に関する方針⑤・⑥、「体験・農の機能」に関する方針⑧を整理。	①多様な担い手（Uターン、外国人、企業参入など）や労働力の確保に力を入れます。 ②米・麦・大豆は、農地の集積・集約化を推進し、農家の大規模化を図ります。また、施設園芸については、最先端の機器導入により、多収量・高品質化を図ります。 ③スマート農業やその効果を発揮する基盤整備を推進し、利益を上げるため、経費削減や作業の効率化・省力化を図ります。 ④国・県と連携して、新規就農者を育成するため、経営開始に係る支援やサポート体制を充実させます。 ⑤消費者や実需者のニーズに応じた生産体系の構築を行います。 ⑥地場産品のブランド化に磨きをかけ、販路拡大を行っていきます。 ⑦担い手への農地利用集積や農地の高度利用による生産性の向上、多様化に対応したほ場や農道の大規模化など基盤整備を推進します。 ⑧小さい頃から農業に触れるなど農業の魅力を活用して、“農”のあるまちづくりを推進します。	①担い手の育成と農業・農村を支える多様な人材の育成を図り、労働力の確保に力を入れます。 ②先端技術や機器の導入によるスマート農業を推進し、作業の効率化・省力化や農作物の高品質化を図ります。 ③担い手への農地の集積・集約化や農地の高度利用に対応したほ場や農道の大規模化など基盤整備を推進し、生産性の向上を図ります。 ④消費者や実需者のニーズに応じた生産体系の構築により、地場産品のブランド化に磨きをかけ、販路拡大を行っていきます。 ⑤小さい頃から農業に触れる機会を提供し、農業の魅力を活用した“農”のあるまちづくりを推進します。	農業振興課
20	5 農林水産	感動を与え、稼ぐ農業の実現	44	意見	宮崎委員	農業に限らず、水田が田んぼダムとして防災にも役立つことを入れてほしい。子どもたちに佐賀市の農業が防災面でも役に立つことを発信いただけるとよいのではないか。	水田やクリークが、雨水を一時的に貯留させ、時間をかけて排水することで、下流域の洪水軽減効果をもつこと。また、森林が防火・防災・防風・防音・減温といった様々な遮断効果をもつこと等、農林水産業が生産面以外にも防災面における効果についても発信していきたい。			農業振興課
21	5 農林水産	感動を与え、稼ぐ農業の実現	44	意見	杉山委員	生活に必要な衣食住でも、食が重要である。どうしても食べるものを安くしないと生活していけない。特別なものでなければ高くは売れないし、大量に生産しても安くはできない。収益に対して最低限の保証をしていかないと、農業を続けていく人がほぼいないと思う。農家の子供はそういったことを知っているため、継ぎ気がなくなっており、国全体の問題として、意識してほしい。林業について、最先端の機械導入によって生産性が向上できれば良いかと思うが、農業は手間暇がかかるため、最低限の保証をするという制度がなければ、残していくことは難しいと考える。	農地の集積・集約化による効率化や最先端機器の導入等によるスマート農業を推進して経費削減を図ることで、利益の向上を目指す。また、農業生産条件の不利益な中山間地域等において、集落等を単位に、農用地を維持・管理していくための取決めを締結して農業生産活動を行う場合に、面積に応じて一定額を交付する「中山間地域等直接支払交付金」制度等、地域の実情に応じたきめ細かな支援を、国・県・市が一体となって推進していく。			農業振興課
22	5 農林水産	感動を与え、稼ぐ農業の実現	44	質問	村井委員	農業の⑥に「地場産品のブランド化に磨きをかけ、」とあるが、認識不足もあるかもしれないが、すでにブランド化の動きをしているのか。そうであれば、具体的に教えていただきたい。 県の方でもブランド化に取り組んでいるため、競合したりせずに、取り組んでほしい。	本市では、「さがびより」や、「あんみつ姫」など、全国的なブランドとして認められた農産物の生産振興が図られている。また、市内の生産者がつくる6次産品を「いいモノさがし」認定品として認定し、市内外に広くPRするとともに、ブランドイメージの向上に努めている。 今後も今あるものに付加価値を付け、新たな食材も含めてブランド化への取組を推進していく。			農業振興課
23	5 農林水産	感動を与え、稼ぐ農業の実現	44	意見	木村委員	農産物フェアという形で、直接生産者の方が出向いて出店して販売するような取り組みを行っており、私も女性部として出店したことがある。その時はいろいろとPRしたが、関係者しか集まらず、一般市民の参加が少なかった。一般市民への周知が不足していると感じたため、工夫が必要ではないか。	農産物フェア単独イベントでの集客は厳しいため、アリーナなどで開催される他のイベントとの同時開催を行いより効果的な集客を図りたい。 また、市報や市ホームページでのイベント告知に加え、各種SNSを活用し、幅広い年齢層へ情報を発信していく。			農業振興課

No	基本政策	施策	ページ	区分	発言者	発言内容	対応方針	計画素案 [6.14時点]	計画修正案	担当課
24	5 農林水産	活力ある水産業と豊かな海・有明海の共生	44	意見	古園委員	魚介類の漁獲量の確保があるが、タイラギなど年によって豊漁・不漁などがある。今後どうやって取り組んでいくか。有明の観光を考えた時に、水産物の貝は重要であり、難しい面もあると思うが、ぜひ取り組んでほしい。	稚貝の放流や、栄養塩を広く行き渡らせ、海苔の品質向上を図るために、滞筋を浚渫する作れい事業、漁場の底質改善を目的とした海底耕耘など実施してきており、今後も、関係機関と連携して、取り組み方針の②のとおり「漁場環境を改善し、漁場機能の回復を図り、魚貝類の捕獲量の確保と海苔の安定生産を目指します。」			水産振興課